

令和3年度 児童発達支援自己評価表 [ハッピーテラス上尾教室] 2022年2月実施

項目	質問内容	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動や人数によって机の配置を変えている。
	② 職員の配置は適切であるか	○		子供の年齢の差があることや、職員の病欠が1人でも出てしまうと安全面に不安が出る。指定されている人員基準数よりも多く配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか、また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		掲示物の工夫や活動しやすい環境作りに努めている。また、階段が急なので必要に応じて、玄関口まで一緒に付き添っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか、また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		掃除、換気、消毒、空気清浄を行っている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		朝礼・終礼で情報共有をしている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者向けアンケートを行い、業務改善に努めている。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		事業者向け・保護者向けアンケートを実施し、職員で協議しより良い教室作りに努めている。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		未実施のため、今後検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所外での研修参加は感染予防のため参加できていないが、ZOOMなどのオンライン研修の参加や職員で勉強会を実施している。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメント後に各職員と相談し、支援計画を作成している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		面談の際には、ハッピーテラス独自のアセスメントツールを実施している。
	⑫ 児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインを前提に、保護者へのアセスメントからニーズや課題踏まえ児童発達支援計画を作成している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		児童発達支援計画に沿って、支援を行っている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		利用生徒に合わせ、教材を精査している。また、微細運動、イベント等の立案を行っている。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		利用生徒の年齢や人数に合わせて工夫している。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		利用生徒や状況等を踏まえ、計画している。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼時に確認している。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼時に振り返り、情報共有を行っている。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録を作成し、振り返りができるようにしている。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		3か月から半年にモニタリングを実施し、計画の見直しをしている。現在は、感染症予防のため、個室での面談は行ってないが、送迎時の振り返りや電話等で情報を共有し、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		現在利用している生徒の担当者会議が未開催の為、未実施。必要に応じて参加した
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて実施していく。
	㉓ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		近隣小学校との情報交換はこれまでに実施したことがあるが未就学児では未実施。コロナ過が落ち着いたら検討していきたい。
	㉔ 移行支援として、小学校や特別支援学校(初等部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		㉓同様、感染症予防のため未実施。今後必要に応じて実施していく。
	㉕ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		感染症予防のため、研修等は映像ツール等にて参加している。
	㉖ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		感染症予防のため未実施。ご要望があれば検討していきたい。
	㉗ 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		感染症予防のため未参加。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時にその日の様子をお伝えする。
㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		感染症予防のため、保護者向け勉強会の実施は今年度実施していない。必要に応じて個別に行っている。	
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時やご相談の際に、丁寧にお伝えするよう努めている。
	㉛ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインそのものについての説明はしておらず、ガイドラインに沿って取り組んでいる活動等についてご紹介させていただき、ニーズに合わせた計画の同意を得ている。
	㉜ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご相談があった際には、適宜支援を行っている。
	㉝ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		感染症予防のため未実施。
	㉞ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見をいただいた際には、真摯に受け止めより良い教室作りに反映させていく。
	㉟ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月手紙を発行し、活動内容をお伝えしている。
	㊱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報に記載された書類は鍵付きのロッカーにしまうなど、特に個人情報の保管には気を付けている。
	㊲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用生徒、保護者に合わせて情報を伝達するようにしている。
	㊳ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		感染症予防のため、未実施。
	非常時の対応	㊴ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
㊵ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		勉強会や避難訓練を行っている。
㊶ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		保護者へのアセスメントの際に服薬等の状況を伺っている
㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		アレルギー対象生徒の対応は医療機関から指示された内容を保護者より連絡していただいている。
㊸ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		作成し、全体で共有している。
㊹ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		虐待防止委員会を設置し、適宜勉強会等で行っている。
対応	㊺ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		保護者へ事前にお伝えすることと個別支援計画に明記している。